

本庄市児玉郡在宅医療・介護連携推進事業

資料 1

事業項目と4つの場面分類 <small>*「4つの場面分類」は参考資料をご参照ください</small>	令和5年度取組状況及び結果(令和5年12月末現在)	令和5年度評価	令和6年度目標	令和6年度の計画 <small>*重点取組内容については、資料4を参照</small>
(ア) 地域の医療・介護の資源の把握 <div style="display: flex; justify-content: space-between; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 日常の療養支援 入退院支援 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 急変時の対応 看取り </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○郡内の在宅医療・介護資源の調査や情報を整理し、適正な情報提供のため、市町ホームページの情報更新を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○郡内の在宅医療・介護関係機関等の情報を住民に周知することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○郡内の在宅医療・介護資源について適切な情報提供ができて、関係者間の連携に活用される。 	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅医療・介護資源の調査や情報の整理を継続する。 ○適正な情報提供のため、継続的に情報更新を行う。
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 <div style="display: flex; justify-content: space-between; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 日常の療養支援 入退院支援 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 急変時の対応 看取り </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○本庄市児玉郡の在宅医療・介護連携を推進するため協議会を開催した。 *年2回開催 第1回協議会 R5/6/23 第2回協議会 R6/2/9(予定) ○重点取組内容に選定した「入退院支援」について、対応策を検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「脳梗塞再発予防のためのチェックシート」を作成・周知し、退院時等において活用できるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本庄市児玉郡の在宅医療・介護連携を更に推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本庄市児玉郡の在宅医療・介護連携を推進するため協議会を継続する。 ○現状分析や課題を把握し、課題を解決するための対応策としての事業を整理し、PDCAサイクルに沿った取組みを進める。
(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 <div style="display: flex; justify-content: space-between; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 日常の療養支援 入退院支援 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○重点取組内容「入退院支援」の課題解決に向けた対応策を実施した。 *令和3年度に開催した「在宅を支える医療・介護者研修会」後に作成着手した「脳梗塞再発予防チェックシート」について、多職種連携を考える会において、お知らせをしてケアマネへ送付した。(R5/11)。 *令和4年度に開催した「入退院調整ルールを活用における現状と意見交換会」において事業所調査及び利用状況調査を実施し、入退院調整ルールの改訂を行った。(R5/7公表)。 *令和5年度多職種連携を考える会を開催した。内容については(カ)参照。 	<ul style="list-style-type: none"> ○入退院調整ルールの活用推進のため、医療・介護関係職対象に実施した調査結果より、円滑な連携がとれていることが分かった。 ○ルールの活用状況については必要時に見直しをしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○入退院調整ルールを活用し、適切な支援ができる。 ○切れ目のない支援ができるよう、関係機関の連携体制の強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○入退院調整ルールにおいては、今後も4つの場面を意識した取り組みの中で、必要に応じ改訂を検討する。 ○入退院時の情報提供等が円滑にできるよう「入退院調整ルール」の周知を継続する。 ○連携体制を構築するために、意見交換会や研修会等を実施する。
(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援 <div style="display: flex; justify-content: space-between; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 日常の療養支援 入退院支援 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; border: 1px solid black; padding: 2px;"> 急変時の対応 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○関係者の情報共有にMCSを活用できるよう、周知の支援を継続。 ○緊急時の備えに向け「わたしの連絡先カード」の郡市内一体的な活用をしている *対象者：75歳に年度内に達する人(4市町)新規介護認定者(上里町) *介護支援専門員へカードの説明・配布(R5)本庄：15 美里：5 神川：6 上里：11 *項目の追加等は適宜検討。 ○「脳梗塞再発予防のためのチェックシート」の周知 *入退院支援時において、介護関係者が必要な医療情報収集するための参考となるよう作成したもの ○多職種連携を考える会の開催 *グループワークの実施 *他詳細は事業項目(カ)を参照 	<ul style="list-style-type: none"> ○日常業務におけるMCS活用の有用性がますます高まる。 ○住民の活用を広めるため「わたしの連絡先カード」の継続及び配布機会の拡大の検討が必要。 ○入退院支援に関わる関係者での意見交換により、顔の見える関係づくりの重要性・医療と介護のそれぞれの立場や視点を認識できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○関係者が対面、MCSを活用し必要な情報を速やかに共有できるツールや体制の構築を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○関係者が積極的にMCSを活用できるよう、周知の支援を継続する。 ○「わたしの連絡先カード」の配布を継続し、活用方法の周知を図る。

事業項目と4つの場面分類 <small>*「4つの場面分類」は参考資料をご参照ください</small>	令和5年度取組状況及び結果(令和5年12月末現在)	令和5年度評価	令和6年度目標	令和6年度の計画 <small>*重点取組内容については、資料4を参照</small>				
<p>(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援</p> <table border="1" data-bbox="62 275 528 394"> <tr> <td>日常の療養支援</td> <td>入退院支援</td> </tr> <tr> <td>急変時の対応</td> <td>看取り</td> </tr> </table>	日常の療養支援	入退院支援	急変時の対応	看取り	<p>○在宅医療連携拠点（本庄市児玉郡共同委託）における相談支援を継続した。</p> <p>○協議会へ相談支援の状況報告を行った。 *相談件数：27件(資料2 参照)</p> <p>【内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居住者別状況：本庄市(67%)、上里町(15%)、美里町(4%)、神川町(4%) ・相談者の区分：医療機関(県内外を併せて22%)、本人・家族(22%)、ケアマネジャー(37%)、地域包括支援センター(19%) ・相談内容：訪問診療・訪問看護等に関するもの(44%)、福祉・介護に関するもの(11%) <p>○在宅医療連携拠点と本庄市児玉郡の地域包括支援センターで役割分担を行い、連携を図りながら相談支援を継続した。</p>	<p>○在宅医療連携拠点と地域包括支援センターで役割分担を行いながら、きめ細やかな相談や連携調整ができた。</p> <p>○今後、困難事例（単身身寄りなし・病識なし・認知症等）の増加が予想されることから、在宅医療連携拠点と地域包括支援センターの連携強化が求められる。</p>	<p>○在宅医療連携拠点における在宅医療・介護連携に関する相談支援を通して、医療と介護の連携を推進する。</p> <p>○困りごとや要望等の解決ができるよう、相談体制の充実を図る。</p> <p>○地域包括支援センターとの連携により相談支援を行うことができる。</p>	<p>○在宅医療連携拠点における相談支援を継続。（本庄市児玉郡共同委託）</p> <p>○在宅医療連携拠点と本庄市児玉郡の地域包括支援センターで役割分担を行い、一層の連携を図りながら相談支援を継続する。</p>
日常の療養支援	入退院支援							
急変時の対応	看取り							
<p>(カ) 医療・介護関係者の研修</p> <table border="1" data-bbox="62 779 528 898"> <tr> <td>日常の療養支援</td> <td>入退院支援</td> </tr> <tr> <td>急変時の対応</td> <td>看取り</td> </tr> </table>	日常の療養支援	入退院支援	急変時の対応	看取り	<p>○（SDM）意思決定支援セミナー開催 *R5/5/23(火) 本庄市役所 6階大会議室 *参加者：50人</p> <p>○緩和ケアにおける地域連携構築会議 *R5/10/19(木) 本庄市児玉郡医師会館 *参加者：30人 *医療用麻薬ネットワークについて、</p> <p>○多職種連携を考える会の開催 *R5/11/17(金) 神川町役場 3階大会議室 *参加者：54人 *「入退院時におけるケアマネジャーと病院等職員との円滑かつ効果的な連携のために～退院時カンファレンス、サービス担当者会議のポイント～」 *講師：うちだ福祉相談事務所 内田英一氏 *講義、グループワーク</p>	<p>○意思決定支援セミナーにおいて、障害や認知症があっても意思決定ができる支援方法を学ぶことができた。</p> <p>○緩和ケアにおける医療用麻薬について、ネットワーク、使用機器等在宅療養を支える手段として理解を深めた。</p> <p>○多職種連携を考える会にて、入退院支援に関わる関係者の意見交換により、顔の見える関係づくりの重要性・医療と介護のそれぞれの立場や視点を認識できた。</p>	<p>○多職種の資質向上及び顔の見える関係づくりと連携体制の強化を図る。</p>	<p>○（SDM）意思決定支援セミナー開催。</p> <p>○ACP・緩和ケア等に関する研修会の開催。</p> <p>○多職種連携を考える会や意見交換会等、研修会の開催。</p>
日常の療養支援	入退院支援							
急変時の対応	看取り							
<p>(キ) 地域住民への普及啓発</p> <table border="1" data-bbox="62 1304 528 1423"> <tr> <td>日常の療養支援</td> <td>入退院支援</td> </tr> <tr> <td>急変時の対応</td> <td>看取り</td> </tr> </table>	日常の療養支援	入退院支援	急変時の対応	看取り	<p>○「人生会議（ACP）」について4市町の広報紙に記事を掲載。</p> <p>○ACPの普及啓発を図るため住民により身近な場を活用するとともに、民生委員や住民に対するDVD上映機会を設定した。 *本庄市（本庄市保健センターにおける特定健診等）で2,342人視聴</p>	<p>○広報等に掲載し広く周知することができた。</p>	<p>○住民がACPについて考える機会の提供を行う。</p>	<p>○ACPの普及啓発を図るため、身近な場を活用しながら周知の機会を増やす。</p> <p>○広報紙へのACP記事掲載の継続。</p>
日常の療養支援	入退院支援							
急変時の対応	看取り							
<p>(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携</p> <table border="1" data-bbox="62 1661 528 1780"> <tr> <td>日常の療養支援</td> <td>入退院支援</td> </tr> <tr> <td>急変時の対応</td> <td>看取り</td> </tr> </table>	日常の療養支援	入退院支援	急変時の対応	看取り	<p>○本庄保健所職員の支援を受けながら、関係市町等の連携体制を推進。</p> <p>○本事業の円滑実施に向けて、市町担当者会議、在宅医療連携拠点と市町担当者会議・在宅医療担当課長会議等を継続して開催。 *市町担当者会議：14回 *拠点・市町担当者会議：1回 *担当課長会議：2回</p>	<p>○本庄保健所職員の協議会参加や在宅医療連携拠点・市町担当者会議の参加のほか、多職種連携を考える会にも参加・協力を頂き、連携を図れた。</p> <p>○市町及び在宅医療連携拠点や地域包括支援センター、保健所等のメンバーが必要に応じて集まり、連携しながら本事業の推進に取り組んだ。</p>	<p>○関係者が一同に会することで顔の見える関係を構築し、連携体制を整える。</p>	<p>○顔の見える関係を構築し、連携体制整備のための研修会を企画し開催する。</p> <p>○事業の円滑実施のために、担当者間の会議を継続していく。</p>
日常の療養支援	入退院支援							
急変時の対応	看取り							